

8月18日

テーマ：「平和をつくる者は幸いです」

聖書箇所：マタイの福音書5章9節

◆今日のみことば

平和をつくる者は幸いです。その人たちは神の子どもとよばれるから。

マタイの福音書5章9節

◆メッセージ

皆さんは「平和」って何だと思えますか？沖縄の小学1年生が書き、絵本にもなった「へいわってすてきだね」という詩の一部分を紹介しましょう。

「へいわってなにか。／ぼくは、かんがえたよ。／おともだちとなかよし。／かぞくが、げんき。／えがおであそぶ。／・・・おなかがいっぱい。／けんかしてもすぐなかなおり。／・・・みんなのころから、へいわがうまれるんだね。」「せんそうはおそろしい。／・・・ぼくだんがおちてくるこわいおと。／おなかがすいて、くるしむこども。／かぞくがしんでしまってなくひとたち。」「ああ、ぼくは、へいわなときにうまれてよかったよ。／このへいわがずっとつづいてほしい。／・・・へいわってすてきだね。／これからも、ずっとへいわがつづくように／ぼくも、ぼくのできることからがんばるよ。」

日本は、もう70年以上戦争をしていませんから、平和と言えるかもしれません。しかし、戦争がなくても、自由に話したり自由に行動することができなかつたり、ごはんが食べられなかつたり、ふるさとに帰れなかつたり、さべつされたりする人がいれば、平和だと言うことはできません。どうして、そういうことが起こるのでしょうか？それは、人間の心が主（神さま）からはなれ、悪いことをするように傾いているからです。それを罪と言います。ところがイエスさまは、私たちをその罪から救い出してくださいるため人間としてお生まれになり、私たちの身代わりとなって十字架にかかり、私たちの罪の罰を受けて死んでくださったのです。さらに、イエスさまは三日後によみがえり、罪の結果である死にも勝利されました。そのイエスさまを信じる人は、だれでも罪がゆるされ、新しい永遠のいのちをいただけます。そのいのちに生きる時、主との平和な関係にもど戻していただけるのです。そこで、私たちは主を喜び、主が喜ばれる行いをしようとし、自分が困っていないからそれでいい、と自分のことだけになっていませんか。あなたの周りにさべつを受けたり、不自由な中で困っている人に心を向けているのでしょうか。イエスさまに似た人に変えられていき、平和をつくる神の子どもとよんでいただきましょう。



◆お祈り

「天のお父さま。イエスさまを信じて、あなたと平和な関係になり、この世界に平和を作り出す者としてください。イエスさまのお名前によってお祈りします。アーメン。」

(横浜上野町教会牧師 柴田智悦)